

民課
生活

地域の生活交通を考える 生活交通研究会を総領・口和地域に設置

本年度、より効率的で地域住民の利用要望に対応できる輸送サービスの実現を目指し、総領地域と口和地域で生活交通研究会が設置されました。

これは、地域が主体的に参画し、地域の課題である生活交通を見直すとする、これまでにない取り組みです。総領地域の研究会が5月23日、第1回目を開催。以降、生活交通利用者の乗降調査や、実際に乗車して現状を調査・研究を進めるなど、新たな生活交通体系の構築に向けた協議を進めています。9月14日には島根県雲南市を訪れ、先進的な取り組みを学びました。



研究会のようす

口和地域では、9月16日に第1回目の研究会が開催され、生活交通の見直しの方向性について活発な議論が行われました。将来にわたって継続可能な生活交通を確保するため、今後も研究会

機課
危管

災害情報の的確な把握と伝達を目指す 避難勧告等の判断・伝達訓練

会を開催していく予定です。総領地域の研究会のメンバー、総領自治振興区の田邊氾水区長は「生活交通の確保は避けて通れない課題。研究会で議論されたことが実現できるように、皆さんと一緒にやり遂げたい」と意気込んでいました。今後は、高野地域でも研究会の設置が予定されています。



職員が地図上に書き込む情報

市は避難勧告等の発令に対する職員の習熟を図るため8月26日、「庄原市避難勧告等の判断・伝達訓練」を市役所本庁舎で実施しました。訓練は、広島県と庄原市消防団の参加を得て、本年6月に作成した「庄原市避難勧告等の判断・伝達マニュアル」に基づいて実施。「台風襲来で豪雨

年間の自殺者数は日本で3万人、広島県内では600人を超えています。県内でも、この県北地域は自殺者の多い地域で、庄原市でも年間10〜20人が自殺で亡くなっています。このような現状から、市は自殺予防に向けた取り組みを行っています。

（3月）にあわせ、本庁・各支所庁舎に懸垂幕を掲示し、市民の方々に自殺予防の意識付けを行います。◆映画「アンダンテ〜稲の旋律〜」輪番上映中
引きこもりの理解と予防をテーマとした映画を市内7地区で上映中です。（最終上映日10月29日（土）15時〜、東城町老人福祉センター）

◆自殺予防懸垂幕
自殺予防週間（9月）、自殺予防月間
災害が発生した」という想定のもと、気象情報、被害発生や負傷者発生など次々に入ってくる情報を細かく整理し状況を把握、その情報を基に避難勧告を発令、対象地区への伝達を行いました。広島県危機管理課の危機管理監小原友広さんは「訓練を通じて学んだことをしっかりと実践してほしい」と話していました。市は今後も同様の訓練を重ね、適切な避難勧告を発令できるように鋭意努めていきます。

◆DVD「生きていくってなんぞいねえ〜」
昨年自殺予防啓発のためのDVDを作成。地域での学習会に活用しています。貸し出しも可能です。◆自殺予防パネル「お父さん眠れてる?」
本庁各支所に等身大人物パネルを設置し、うつ病・自殺予防を呼びかけています。自殺者の中にはうつ病の方も多く「うつ」のサインの一つでもある不眠に早く気づき、うつ病の早期発見・治療で自殺者の減少を目指します。

業課
農振

夏の「楽しい」を食べる。 おいしい「食」「農」を体験 食笑会 in 県民の森

食農ネットワーク庄原が主催する「食笑会 in 県民の森」が8月21日、ひろしま県民の森で開催されました。

このイベントは、庄原の夏を食べて感じてもらい庄原ファンを広げることが目的で開催されたもので、市内外から29人が参加しました。

参加者は、さまざまな用途に使えるダッチオーブンの使い方を教わりながら、タンンドリーチキン、ローストチキン、旬野菜の無水蒸しやハーブバターなどを作りました。また、「農」の大切さを知る野菜づくりの話や、自然の草花を使って灯籠を作る花の玉手箱作りを体験したりしました。

参加者は「日ごろ自分たちだけではできない体験ができ、とても楽しかった。」



みんなで楽しく調理

業課
林振

捕獲者増で農作物被害軽減を図る アライグマ・ヌートリア防除従事者養成講習会

農作物被害の拡大防止を目的として、特定外来生物であるアライグマ・ヌートリアの防除従事者養成講座を開催し、76人が受講しました。9月13日、庄原市ふれあいセンターでこの講習を受講し防除従事者に登録することで、狩猟免許（わな猟免許）を持たない方でも、アライグマとヌートリアを捕獲できるようになります。

受講者は、これらの生態に関する基礎知識や、かごなどの使い方などを熱心に学んでいました。

市は今後も、農作物被害の低減と生息域拡大の防止のため、庄原市アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づいた防除体制の整備などに努めていきます。



講座のようす

健課
保医

悲劇を生まないために 自殺予防対策実施中

会課
社福

恒久平和を誓う 庄原市戦没者追悼式・平和祈念式典

戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念する「庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を8月24日、庄原市民会館で行いました。遺族をはじめ来賓、小中学生など、約630人が参加し、本市出身の戦没者2、925人の冥福と平和を祈りました。

式典で滝口季彦市長は「戦争は、人類にとって繰り返してはならない究極

の過ちであり、私たちには、この史実を次の世代に正しく語り継ぎ、心の中和の灯を守り続ける使命がある」と式辞を述べました。

続いて参加者全員で黙祷、献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。追悼吟詠、美古登小学校児童の合唱、口和本の会の朗読、東城中学校吹奏楽部による演奏も行われ、改めて平和の大切さを心に刻みました。



美古登小学校の児童による合唱